

# 神林 崇教授（筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構）特別講演「オレキシン研究の進展と睡眠医療への貢献」第20回新潟睡眠呼吸障害研究会（2024年10月）

去る10月5日の第20回新潟睡眠呼吸障害研究会で、オレキシンを発見した柳沢正史教授が機構長を務める筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構から神林崇教授をお招きし、「オレキシン研究の進展と睡眠医療への貢献」という演題で特別講演を行いました。

オレキシンは脳の視床下部で産生される神経ペプチドで、覚醒システムを活性化させて意識をはっきり保つのに役立ち、その不足は、ナルコレプシーという睡眠障害の原因となることが知られています。オレキシンの効果を抑制することで眠気が生じるため、オレキシン受容体拮抗剤が新しい睡眠薬として上市され、一方、ナルコレプシーの特効薬として期待されるオレキシン作動薬も開発されております。

ナルコレプシーは日中に強い眠気が突然襲ってくる睡眠障害で、笑ったり驚いたりすると突然筋力が低下する情動脱力発作が特徴です。そのため、車の運転など危険を伴う行為は禁止されます。現在は、眠気の予防に中枢神経刺激剤を、情動脱力発作の予防に抗うつ剤をと、分けて処方されていますが、オレキシン作動薬が上市されれば一剤で済むことになりそうです。

**第20回 新潟睡眠呼吸障害研究会**

日時：令和6年10月5日(土) 14:00 ~ 16:00  
開催形式：現地開催  
場所：新潟医療人育成センター内 4階ホール  
新潟市中央区旭町通一番町757番地（新潟大学旭町キャンパス内）  
参加費：1,000円

開会の辞 14:00  
新潟大学大学院医学総合研究科 呼吸器・感染症内科学分野 教授 菊地 利明先生

一般演題 14:05 ~ 14:50  
座長 長谷部 大地先生（新潟大学大学院 組織再生口腔外科学分野）

1. 睡眠時誤嚥(Sleep Aspiration)のリスクファクター解析  
○河野 隆1), 井上 誠1), 小林 真樹2), 小川 智2), 河野 正己2)  
1) 新潟大学大学院医学総合研究科歯学部歯学部口腔内科学分野  
2) (株)やまびこ目黒会 小ばやし内科クリニック すいみん歯科センター

2. 当院における小児OSA治療の現状  
○藤井 玄樹, 川浪 季介, 馬場 洋樹, 堀井 新  
新潟大学医療総合病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

3. クライネ・レビン症候群 ~当院で疑われた3症例~  
○松山 真樹1), 森山 寛史1), 齋田 由美子2), 土田 昌典2), 山本 直樹2), 菅 孝2), 土屋 柳子2), 大平 徹郎1)  
1) 国立病院機構新潟中央病院 呼吸器センター内科・睡眠医療センター  
2) 新潟中央病院

4. MSLTの臨床統計  
○小林 真樹, 小川 智, 河野 正己  
(株)やまびこ目黒会 小ばやし内科クリニック すいみん歯科センター

休憩 14:50 ~ 15:00

特別講演 15:00  
座長 菊地 利明先生（新潟大学大学院医学総合研究科 呼吸器・感染症内科学分野 教授）  
「オレキシン研究の進展と睡眠医療への貢献」  
神林 崇先生 [筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 教授]

閉会の辞 16:00  
小ばやし内科クリニック すいみん歯科センター長/日本歯科大学名誉教授 河野 正己先生

お問合せ：新潟睡眠呼吸障害研究会事務局 新潟大学大学院医学総合研究科 呼吸器・感染症内科学分野 大嶋 康雄  
TEL：025-368-9325 FAX：025-368-9326  
共催：新潟睡眠呼吸障害研究会 株式会社小池メディカル チェスト株式会社 春人ヘルスケア株式会社  
フィリップスジャパン株式会社 フクダワイテック北信地区株式会社